

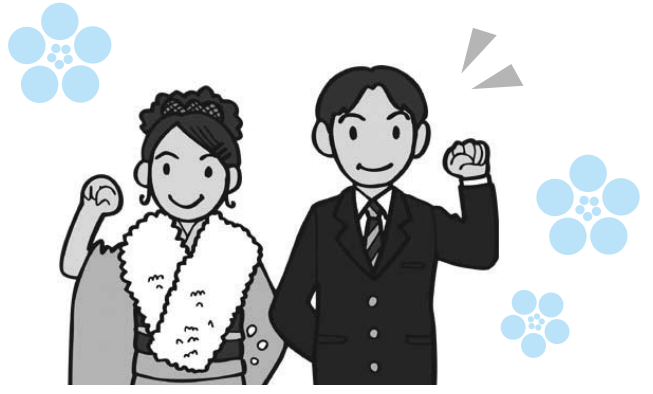
まちの話題

●身近で楽しい話題、
明るい話題待っています。

広報こまつしま 電話 32-3812



祝成人式



脂肪燃焼エクササイズで汗を流す参加者ら

『メタボに本気の小松島』をテーマに、血糖や血管年齢などの測定、健康食の試食、脂肪燃焼エクササイズや徳島赤十字病院医師による医療相談などのコーナーが設けられ、大勢の来場者でにぎわいました。

11/28

『メタボに本気の小松島』をテーマに 小松島市健康づくりのつどいを開催

また、徳島赤十字病院副院長の日浅芳一先生が『知って得するメタボの話〜あなたが小松島を元気にする〜』と題して講演。受動喫煙による配偶者の狭心症や心筋梗塞の発症率、魚を食べる日本人は長寿、全国平均に比べ歩かない徳島県人などの例をあげながら運動療法とともに食事療法の大切さを示し、生活習慣病を予防するコツとして「禁煙をし、和食を食べ、よく歩いて健康な生活を送りましょう!」と呼びかけました。



行列ができた徳島赤十字病院医師による医療相談コーナー

12/8

泰地保育所幼年消防隊が 法被姿で『火の用心』パレード



拍子木を打ち鳴らし「火の用心」を呼びかける園児ら

泰地保育所の園児で組織する幼年消防隊（0〜5歳児69名）が12月8日、子どもたちと地域住民の防火意識の向上を目的に町内パレードを行い、『火の用心』を呼びかけました。昭和61年から続くこのパレードは、今年で24回目。そこの法被を身にまとった園児らが、拍子木を打ち鳴らし「マツチ一本火事の元、タバコの吸い殻火の用心」と、保育所周辺の約1kmを市消防本部の職員や地元消防団第7分団の団員らに見守られながら練り歩きました。



購入されたD-I級軽可搬消防ポンプ一式

このたび財団法人日本消防協会実施の「女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業」の助成を受け、「D-I級軽可搬ポンプ一式」と「予防活動用資器材として訓練用消火器等」を購入し元根井地区自主防災会女性消防隊に配備し地域の防火防災活動や火災予防啓発活動に活用します。この事業は「宝くじの助成金」により実施されました。



「宝くじ助成事業」で軽可搬 消防ポンプ等を購入